

# テスト・オブ・ツクバ参戦は 新たなアイデアの扉を開ける 試金石的チャレンジだった

## STRIKER WORKS

ストライカーワークス(カラーズインターナショナル)

11月7日に開かれたテスト・オブ・ツクバのF-ZEROクラス。辰郎代表率いるストライカーワークスは、短期間で仕上げたというZ900RSを決勝グリッドに並べた。リザルトは19位完走。でも、求めたのはストリートバイク、Z900RSでレースという新境地に踏み出すことでのアイデア開拓だったという。その詳細を聞いてみよう。



これはF-ZEROクラス決勝グリッドに並んでの記念撮影。ストライカーワークス店長でもあるライダーの鈴木辰郎が皆で掲げる「1」はZ900RSで一番人気のプランになることか?! 下写真、左がH&L読者ならご存じ、辰郎(あらた たつろう)代表で、右はカラーズインターナショナルでパーツ開発を担う、高橋秀行さん



創業25周年を期にリニューアルされた、ストライカーの新ブランドロゴ。Z900RS用を含む、新たに生み出すパーツ群とともに、マーケットへのその浸透を図っていく

T.O.T KAGURADUKIステージの2日目、F-ZEROクラスに出場した鈴木正彦選手+SZ-021R。予選は1分3秒112で22位。決勝は19位完走。鈴木さん曰く、短期間でのマシン作りではあったが確かな手応えと、次回に向けての改善点は見いだせたとか。来シーズンの活躍にも期待!



新製品の発表を期待したT.O.T参戦は収穫多数!  
現代のストリートバイクとして生み出されたZ900RS。スポーツバイクとしてのZ900をベースに、より日常ユースに仕向けられたその性格もあってか、サーキットではスポーツ走行で見かけることはあれど、イベントレースに本格参戦は聞かなかったハナシ。そんな同車だが、今秋のT.O.T KAGURADUKIステージ、F-ZEROクラスで2台がデビューした。ここで紹介するストライカーワークス、鈴木正彦選手が駆る#1はそのうちの1台。同店は、エキジスト/カスタムパーツメーカーとして知られる、カラーズインターナショナルがプロデュースするカスタムショップ。ライダーの鈴木さんは店長だ。

早速、カラーズ/ストライカーワークスを率いる辰郎代表、カラーズでパーツ開発を担当する高橋秀行さんに詳細を聞こう。「Z900RSは当社でも早くからパーツ開発に取り組んできました。おかげさまでリリースしたパーツはどれもまんべんなく売れています。一方では僕が考え得るポルトオンパーツはほぼすべて出し尽くしてしまっただけです(笑)。ここまでを第1ステージと考えると、ステージ2、新しい、何かを得るには思い切ったチャレンジをする必要があるかな、と。今回のT.O.T参戦は、その具体行動なんです」と、新代表。話は続く。「一番大きかったのは、エンジンを触ったこと(詳細はP33)。SZ021Rはまだ開発途中ですが、パワーはこのぐらいまで出せる、タイムはこのぐらい……。鈴木店長に乗ってもらったのは、一般ライダーはこのぐらいのタイムで走れるのか、を知りたかったから。そうして拾い上げたデータをストリートパーツにフィードバックするのが目的。SZ021Rに僕も乗せてもらいましたが、各部のパーツでも改善点があることに気づいたり、バーハンドルキットも作るか?なんて考え出したりと、T.O.T参戦からの収穫は想像



以上。できれば来シーズンは私も出てみたいと考えますが、それもちろん、タイムや順位を詰めるためなどではありません。やはり、新しいストリートパーツ開発に向けた、アイデアとデータを得ることが目的なんです」  
「商品化したいな、と思うのはバックステップです。既存のSTC(Sports Touring Concept)ステップキットも好評いただきましたが、スポーツ走行やレースを楽しむみたくて、もう少しレシーなステップを望まれるユーザーもいらっしゃる。そうした方々に満足いただけるものも作っていききたいですね」と、高橋さん。  
Z900RS用パーツと言えば直近では、ヘッドライトステーや先のセパハンキット対応のスロットル/クラッチワイヤをリリースしたり、とラインナップは周辺パーツにまで及んでいる。さらに、これも他車用として好評のヒレレットによるタンデムステップキットも開発が予定されている。  
カスタムパーツもSZも楽しみ続けるためにも  
一方、ストライカーワークス側のサービスで気になるのは、カスタムコンプリート、SZシリーズ。新車・中古車問わず入手が困難な

# Kawasaki Z900RS

「MotoJp」で得た確認事項、  
「ストリートライ」はすべて  
「ストリートパーツ」に還元される



なっている今の状況は？  
「現在、お引き受けしているのは、  
新車なり中古車なり、お客さまに  
持ち込んでいただいで、弊社人気  
パーツでパッケージング。前後シ  
ョックやホイールといった足まわ  
りに関しては、ストライカーワー  
クスが持つデータやノウハウなど  
参考にしていただきながら相談の  
上、コンプリートとして仕上げて  
いきます。弊社はビルダーではあり  
ませんが、先のシヨックやホイー

ルも含め社外パーツにも豊富なノ  
ウハウがあります。個別のパー  
ツを購入して少しずつ楽しんでい  
だくこともできるし、ストライカ  
ーのSZパッケージを購入しても  
らうのもアリ。いずれの場合でも  
その後のセッティングアドバイス  
なども含め、楽しんでいただける  
はずですよ」(新代表)

「トータルで仕上げるコンプリ  
ートマシンは、Z900RSの価値  
を一層引き上げるものと考えてい  
ます。ストライカーワークスで作  
ってもらった、ストライカーのパー  
ツでまとめられている……とお客  
さまが喜び、自慢いただけるよう  
に、これからもT.O.T.チャレンジ  
を含め、カラーズ/ストライカー  
のブランド発信力を強めていきたく  
いと考えているんです」(高橋さん)

## Z900RS SZ-021

DEMO. CUSTOM MODEL for STREET



## Z900RS SZ-021R T.O.T. RACER



### カスタムプランを膨らませるデモバイクの最新仕様

- 1 ①エンジンはSTD。カーボン製ラジエーターガード、ガードスライダはオリジナル。マフラーはZ900RS用で一番人気のSTREET CONCEPTフルEX4-1チタンブラック
- 2 ③④前後フェンダーも同社エアロデザイン、SADシリーズ。リアアームはG-STRIKER
- 3 ⑤前後ショックは純正パーツをベースにスクーデリアオクムラでMEチューン済み
- 4 ⑥⑦⑧ステップは人気のSTCステップキット4ポジション。シートはオリジナル加工。写真にないがG-STRIKERステムキット、セバハンキットと合わせて理想のポジションを創出。チタン製グラブバー、フェンダーレスキットもストライカーのオリジナルだ

### ストリートパーツ開発・確認のテストベッド!

- 1 ①新代表が「触ったことが一番大きい」としたエンジンは、カム、ピストン、シリンダーにZ1000用純正パーツを流用。これに合わせECUはMotoJpで再セッティング。ガードスライダやアルミ削り出しのエンジンハンガーはストライカー市販品だ
- 2 ②マフラーはストライカー「INTER MODEL」OFF-TypeBを使った試作レーシングフルEX
- 3 ③④ホイールはゲイルスピードGP1S。サイズは3.50/5.50-17。Fキャリパーはブレンボ、リヤショックはオーリンズ。リヤのカーボンフェンダーもストライカー市販品
- 4 ⑤⑥ハンドルまわりはG-STRIKERステムと同社セバハンキットの組み合わせ。ステダンはオーリンズ、ブレーキマスターはブレンボ、クラッチホルダーはゲイルスピードだ
- 5 ⑦⑧ステップには開発の基となるベース装着。シートはミッドナイト製に独自で表皮を貼る

